



秋の黒部峡谷トロッコ電車の旅

おすすめスポット3

Spot 01 今しか下車できない特別な駅「猫又駅」



黒部峡谷鉄道 谷本さん

普段、一般客は立ち入ることができず、日本で唯一「猫」が付く駅として現在、大人気。特別に設置されたフォトフレームで記念撮影もできます。

Spot 02 宇奈月温泉の源泉「黒薙温泉」



黒薙駅から徒歩で行く宇奈月温泉の源泉、黒薙温泉。野趣あふれる露天風呂が秋風に心地よいです。日帰り入浴は9:00～15:15で大人1,000円

Spot 03 トロッコ電車の後にひと息「宇奈月温泉の日帰り温泉」



総湯「湯めぐり宇奈月」宇奈月駅から徒歩5分。観光案内所も兼ねる日帰り温泉施設。9:00～22:00で高校生以上510円

とちの湯 宇奈月駅から車で10分程度。うなづき湖を望む絶景露天風呂が人気です。10:00～17:00で高校生以上510円



黒部峡谷鉄道 前沢さん

黒部峡谷鉄道

トロッコ電車の乗車券は、当日・予約で購入できます。全席確保の定員制なので混雑時期は予約がおすすめ。

●お客さまセンター ☎0765-62-1011
9:00～16:30(～11月30日)
黒部市黒部峡谷口11番地

詳細はHPで確認できます



上) 出平駅上流の景観。中部山岳国立公園に含まれ、手つかずの自然が眼前に開ける黒部峡谷。トロッコ電車は峡谷を沿うように走ります



右) トロッコ電車の客車は、開放感のある普通客車と、窓のあるリラックス客車の2種類

部区間に被害が出てしまったため、宇奈月駅から猫又駅まで11.8キロメートルの運行となっています。「宇奈月駅から猫又駅まで往復で120分程度の旅程です。ただ、全線運行時は下車できない猫又駅に停まるということで、鉄道ファンの方々は喜んでいただいていますし、駅名に猫がつくのは日本唯一ということで、猫好きの皆様からも注目いただいています」と笑顔で話す野島さん。

再発見してほしい 新川地域の秋の宝物 黒部峡谷トロッコ電車は秋を楽しむなら、今がまさにベストだと野島さんは力を込めます。「例年、10月下旬から11月中旬が紅葉の見ごろです。黒部峡谷の秋は紅葉、黄葉、常緑樹、そして黒部川のエメラルドグリーンのコントラストが、本当に美しいです。日本の秘境百選にも数えられる黒部峡谷の手つかずの大自然、色づく雄大な景観、鼻孔を抜ける澄んだ空気、その全てが、秋のトロッコ電車の車窓から満喫できます。

今年のは、能登半島地震の影響で一



巻頭特集

黒部峡谷の大自然に親しむ 秋のショートトリップ 晩秋を五感で楽しむ！ トロッコ電車の旅路

日本三大峡谷に数えられる黒部峡谷に位置し、多くの観光客を迎える県内随一の温泉地、宇奈月温泉。そして、この地を訪れた人々を大いに楽しませているのが、黒部峡谷鉄道のトロッコ電車の旅です。色鮮やかな紅葉と深山の清澄な空気を求めて 晩秋の今こそ、地元の小旅行を楽しんでみませんか？

名湯と共に歴史を重ねる 黒部峡谷トロッコ電車

多くの文人墨客を魅了し、美肌の湯として人気の高い宇奈月温泉。古くから温泉の存在は知られていたようですが、山深い源泉から引き湯され、現在の場所である宇奈月温泉として開湯したのは大正12(1923)年。そして宇奈月温泉を象徴するトロッコ電車が発走する黒部峡谷鉄道も、実は、同時期に作られたのだと教えてくれたのは、黒部峡谷鉄道の野島千夏さん。「黒部軌道はもともと、日本電力という会社が黒部川に発電所を建設するにあたり、資材や人員を運搬するために作ったものなんです」。着工は大正12年、宇奈月駅・猫又駅間の11.8キロメートルが開通したのは大正15(1926)年。以来、黒部峡谷沿いを走る黒部専用鉄道(当時)は、宇奈月温泉と発展を共にしてきました。



発電所建設の資材、人員輸送として整備された黒部峡谷鉄道。その歴史は宇奈月温泉と共にあります

11年後の昭和12(1937)年、黒部専用鉄道は樺平駅までの延長工事を完了。発電所の建設、ひいては地域や日本の発展に寄与していきます。その後、時代は流れ、戦後復興期の昭和28(1953)年、黒部専用鉄道を引き継いでいた関西電力が一般旅客営業を開始。昭和46(1971)年に関西電力の子会社として黒部峡谷鉄道が設立され、現在に至ります。

実は一般旅客営業を始める前から、黒部峡谷の大自然を楽しみたいという人々を時折、乗車させていたのだと野島さん。「次第に、トロッコに乗った人々からの、素晴らしい経験だった、絶景が楽しめたという声が大きくなり、観光鉄道事業が始まりました」と背景を教えてくださいました。

今だから下車できる 特別な駅を楽しもう

黒部峡谷トロッコ電車は、宇奈月駅から終点の樺平駅まで、全区間20.1キロメートル、10の駅が設置されています。例年、トロッコ電車の運行期間は4月中旬から11月末まで。ちなみに、黒部峡谷鉄道は現在でも発電所などで働く人々や資材の輸送を兼ねており、一般客が下車できる駅は限られています。



黒部峡谷鉄道 営業企画・広報グループ 野島千夏さん